

平成23年度鹿児島市地域情報化推進委員会概要

- 1 開催日時
平成23年6月3日（金） 14:00～15:10
- 2 開催場所
鹿児島市役所東別館9階特別中会議室
- 3 出席者
(1) 委員13人
(2) 事務局7人（総務局長、総務部長、情報システム課長、情報システム課4人）
- 4 会次第
(1) 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について
(2) 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について
(3) その他
- 5 議事の概要

発言者 発言内容

(1) 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

事務局	(資料に基づき説明)
委員長	検討中の具体策については、10月の会議で担当課から説明するようにして欲しい。
事務局	関係課と調整してそのように対応したいと思います。
委員長	資料の説明では納得できないので、きちんと理由を説明できるようにして欲しい。
委員	自動交付機のサービスと似たようなものとしてコンビニ交付などの自治体導入事例もある。既存のサービス提供と連携した方が住民サービスにつながるのではないかと。地方自治情報センターのコンビニ交付モデル支援事業もある。
事務局	市としてもコンビニ交付サービスの導入について検討しているが、自動交付機は窓口の混雑緩和も期待でき、またコンビニの無い地域もあるので、役割分担して検討していきたいと考えます。
委員長	コンビニ交付の担当はどこか。
事務局	市民課と情報システム課です。
委員長	コンビニ交付などがはいると、計画を修正していくべきではないか。
事務局	第三次計画の目玉として盛り込んでいきたいと考えています。
委員長	現在の計画は修正しなくていいのか。
委員	会議資料は件数や進捗がよくわかる作りになっている。ただ安心ネットやブロードバンド整備などインフラ整備が行われ目標を達成したものについても、情報化の現状として引き続き情報提供して欲しい。 6つの検討中の具体策についても24年度がきたらどうするのか、早めに検討してどのようにするのか教えて欲しい。
委員長	具体策の実績はとっていないのか。

事務局	成果指標を設定できるものは設定しています。
委員	(通し番号3)「雨量観測システム」などは目標や実績値の設定が各年度で更新されているのでよくわからない。
委員	この指標は単年度ごとですか。
事務局	そうです。 指標は累積と単年度のものが混在しています。 具体策の内容によって指標の設定の仕方が違ってきます。
委員長	指標は記載するようにして欲しい。
委員	(通し番号79)「電子調達システムの構築・運営」の指標「電子入札の安定運用」は指標として適切ではないのでは。 次期計画では成果指標が累積か、単年度のものか分かるように設定すべきではないか。 成果指標を変更した場合は、それが分かるように表示して欲しい。
委員長	この具体策の指標は当初は「入札契約件数」だったのが、「安定運用」に変わっている。変えた経緯など次の資料作成時記載して欲しい。
委員	震災の関係で、すでに達成した具体策でも内容を変更しないといけないものなど無いのか。
事務局	個別の具体策というより、実務的な運用の中で対応を行っています。 具体的には震災を受けて、バックアップ、電源、システムの復旧などの再確認を行っています。
委員長	参考資料で欲しい。
事務局	資料を提供します。また後で節電についてご説明します。
委員	震災関係で市民のデータの外部保存などバックアップはどうか。
事務局	別の庁舎にバックアップしています。 バックアップのあり方については、九州外にするのか等検討をしているところです。次の計画に出せたらと検討しています。
委員	住基カードの普及状況は。
事務局	22年度末で約3万枚です。 市民の約5%にあたります。
委員	住基カードの二次利用は、5%を増やそうとするカードの普及促進としてか。
事務局	普及促進の中で、コンビニ交付等検討しています。
委員	5%の人のために投資するのか。それこそ費用対効果ももたないのでは。 また、バスロケーションシステムとあるが、それより高速バスの行先表示が同じ行き先なのに会社によって違う。外国人観光客も利用するので、システムもそうだが、コンテンツの統一が必要ではないか。
委員長	住基カードが他にも使えるようにというのは、普及が目的なのか。
事務局	市民サービスの向上が目的です。 コンビニ交付は住基カードの利用が必要となるので相乗効果が期待できます。
委員	住基カードに検診の内容を表示できるようにすれば利用が増えるのでは。
委員	図書館での住基カードの利用は、宮崎の事例を以前の委員会で提言したが、反映されていない。利活用についてもっとどういう部門でどういう活用ができるか全体的にとりまとめて検討して欲しい。
委員	住基カードの利用は進んでいないが、国税の申告などで増えてきている。共通

	番号制などが進めば利用される余地が出てくる。
委員長	県全体ではどのくらいの利用か。
委員	把握はしているが、資料が手元にない。
委員長	ラピカはどれくらい利用されているか。
事務局	10万枚程度です。
委員	年金の申請で電子申請を利用したが、最後には紙で申請した。現在の制度は中途半端なので、すべて住基カードでできるようになればいい。
委員	電子申請は届出には有効だが、交付の面はネックである。 共通番号を使って住基カードで年金の手続に必要な色々な証明にも使えるようになるかもしれない。
委員	住基カードの利活用についての法律はあるのか。
事務局	10年という有効期限があるので利用しにくくなっています。 宮崎の事例では印鑑証明カードを廃止して、住基カードに変えたので普及が進んでいます。当市ではカードの交付手数料を無料にしても普及は進みませんでした。住基カードは公的認証として使えるのが強みです。二次利用として印鑑証明の発行に利用できるよう進めています。 今後は国で検討している医療・社会保障の動向も含めて検討していく必要があります。
委員	住基カードが使用せず置いておくと碎けたことがあった。
委員長	当市のカードは大丈夫か。
委員	自治体によって違うのか。
事務局	本体内の情報の扱いは一緒です。住基の4情報（氏名・住所・生年月日・性別）については住基カードのシステムで国・県にデータがあるので、今回の震災などでそのデータを利用できます。その情報以外のものは自治体で工夫して付加できる部分があります。
委員長	検討として残るものについてよろしくお願ひしたい。 住基カードについての詳しい説明をして欲しい。どこが担当か。
事務局	システムは情報システム課、カードについては市民課です。 二次計画の総括を中身について掘り下げながら、第三次計画に新規施策だけでなく、二次計画で達成したものについても検討を続けていきたいと考えます。

(2) 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

事務局	(資料に基づき説明)
委員長	アンケートについては時間も無いので気付いた点をメールで送るということにしたいがいかがか。
委員	(了承)

(3) その他

事務局	(PCの節電対策について資料に基づき説明)
委員長	窓をあけたり、LEDに変えたりと節電対策は経費がかかる。 3割も節電されるのか。
委員	何も対策をとっていない場合は近い数値がでるのでは。
事務局	電源の設定についてはノーマル設定より効果が見込まれると考えています。
委員	実施しているのか。
事務局	庁内に周知したばかりで、実施状況については未確認です。

委員長	節電をお願いします。
	(他は特になし)

6 市民意識調査に係るメールによる意見

委員	次期計画の策定における情報発信の一つのツールとして、地上デジタル放送におけるデータ放送の活用も検討してほしいので、問2のところに「データ放送を利用しているか」的な質問か、「デジタル放送のデータ放送を見ている」的な回答を入れてみてはどうか。
委員	対象者数の抽出は「人口区分」がいいのではないかと。 調査項目に「利・活用の有利さ、便利さ、好都合さ、経済性」等「活用して良かった点」も必要。 有意差検定も添記してみてはどうか。
委員	PCの普及状況を考え、回答はインターネットと紙を選べるようにすれば、時間と費用が節約できるのではないかと。
委員	対象者数の抽出は層化抽出法が適している。 質問肢を作成する場合に、理解し易い平易な文章を心がけて欲しい。
委員	文章での回答は大変なので、できるだけ簡単な内容が良い。